

自治会・町内会が補助金を受けて  
実施した事業を一部紹介します。

# 平成29年度 紡ごう絆地域応援事業 事例集

所 沢 市



# もくじ

紡ごう絆地域応援事業 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1

---

## チャレンジコース

- アパート・マンションに掲示板を設置し、広報活動始める・・・・・・・・P. 3  
【宮本町町内会】
- 「こどもカフェ」で学習&遊びの居場所づくり・・・・・・・・P. 5  
【安松町内会】
- 地域内のゴミ収集を通して自治会加入促進活動・・・・・・・・P. 7  
【東所沢3丁目自治会】
- ボランティアによる土嚢備蓄事業・・・・・・・・P. 9  
【三ヶ島第三区自治連合会】
- 自治会改革プログラム・・・・・・・・P. 11  
【小手指第六区中部自治会】
- 地域イノベーションによる防災コンシェルジュクラスター創成事業・P. 13  
【小手指町二丁目自治会】
- トータル防災体制構築と共助コミュニティ意識の醸成・・・・・・・・P. 15  
【泉ハイツ自治会】
- 東町町内会安心安全の自主防災・・・・・・・・P. 17  
【東町町内会】
- 地域内に一人ぼっちを創らない！コミュニティ促進空間の提供をとおり、  
自治会加入促進をすすめる事業・・・・・・・・P. 19  
【東所沢和田3丁目自治会】
- 東住吉町内会 体験型防災訓練・・・・・・・・P. 21  
【東住吉町内会】

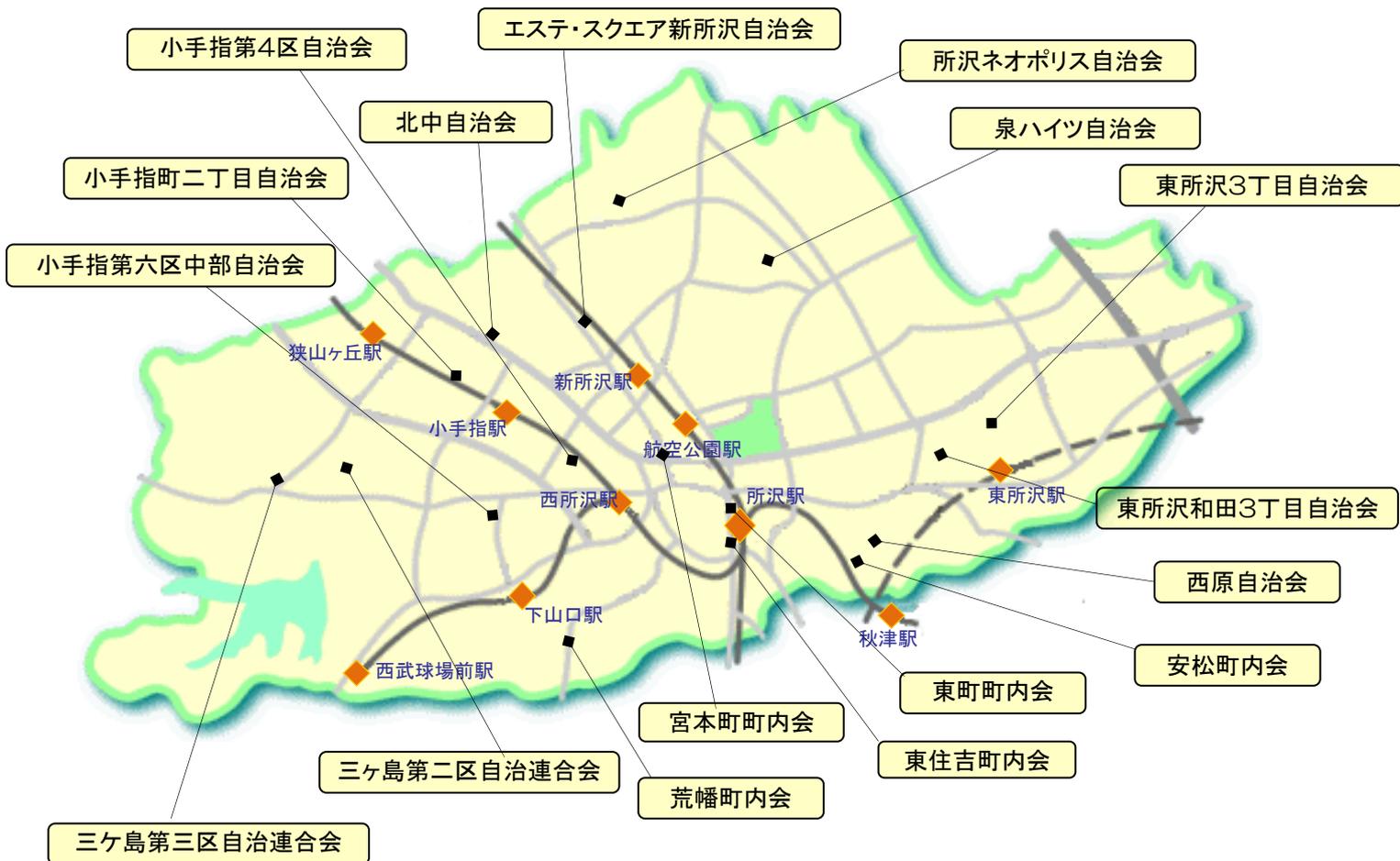
## ステップアップコース

---

- 第9回 夏休みチビっ子家族ラジオ体操・・・・・・・・P. 23  
【西原自治会】
- 鯉のぼりの掲揚とドレミの丘ミニ音楽祭・・・・・・・・P. 25  
【荒幡町内会】

- ボランティア活動の深化促進及び防災拠点の整備・・・・・・・・・・ P. 27  
【三ヶ島第二区自治連合会】
- 富岡地区の里山の保全と間伐材を利用したホダ木づくり・・・・・・・・ P. 29  
【所沢ネオポリス自治会】
- 東川にホテルを呼び戻そう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 31  
【小手指第4区自治会】
- エステふれあい資源回収(資源搬出サポート)自治会加入促進事業・ P. 33  
【エステ・スクエア新所沢自治会】
- 子供達の夏祭りポスター作成による夏祭り参加拡大及び  
自治会会員の入会促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 35  
【北中自治会】

## 各自治会・町内会位置図





本冊子は、実施団体の事業計画書や実施報告書に基づき作成しております。  
事例集の作成にあたり、多大なる協力を賜りました各自治会・町内会の皆様に深く感謝申し上げます。

平成29年度に採択した、17の事例を紹介します。  
各自治会・町内会が平成29年4月から平成30年3月までに実施した内容をまとめたものです。ほんの一部の自治会活動の紹介ですが、「自治会ってこんなことしてるんだ！」「この活動、私たちもやってみようかな！」とっていただけたら幸いです。

それでは次ページからご覧ください。

## 宮本町町内会

### アパート・マンションに掲示板を設置し、広報活動始める

#### 目的

一戸建て家屋ではほとんどの世帯が町内会に入会し、回覧物が回覧されているが、アパート・マンションには町内会費が納入されているにも関わらず、市、町内会の広報物の回覧は困難であり、回覧されていない。

そこでオーナーの了解を得て、掲示板を設置し、回覧物を月2回程替えて掲示することで情報を広報する。

#### 内容

一般的にアパート・マンションの住民は市や町内会には無関心の人が多いが、情報伝達を行い、知ることによって関心を持ってもらう。また、市や町内会が行う行事（盆踊り、ところざわまつり等）に参加していただき、親睦を図る。

#### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	アパート・マンション	掲示板の設置をオーナーに依頼	
6月	同上	掲示板の設置	
7月	同上	市からの広報物を掲示	
7月	同上	盆踊りのチラシを貼る	

#### 共同実施団体

なし

#### 事業の運営体制

役割	人数	備考
町内会役員執行部	10人	月2回、市や町内会からの広報物を役員が手分けして掲示する。



## 活動の効果

アパート・マンションのオーナーから許可を得て、掲示板を設置し、広報物・盆踊り・ところざわまつりの印刷物を掲示した。

これによりアパート・マンションの住民が情報を得られるばかりでなく、市や町内会に関心を持つようになった。

また盆踊りやところざわまつりに参加してもらうことで町内の親睦につながった。

## 写真



### ▲マンションの入口に掲示板を設置

住民の方が、今まで知らなかった情報を知ることができるようになりました。掲示板一つを設置するだけでも、情報を目にする人の数は大幅に増えました。



### ▲アパートに掲示板を設置

アパートの目立つところに掲示板を設置して、皆さんの目に留まるようにしました。市や町内会に関心を持ってもらうきっかけとしています。

## 安松町内会 「こどもカフェ」で学習 & 遊びの居場所づくり



### 目的

共働き家庭の多い町内会の若いパパママを応援するため、こどもの居場所づくりをサポートする。地域の民生委員や町内会スタッフ、高齢者との交流もできる。



### 内容

安全な「\*交流館」に週一回来ることで、さびしくない時間が過ごせて友達もできる。  
\*交流館＝安松町内会の会館



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	安松町内会 「交流館」	役割確認会議 ポスター回覧板で周知	
5月～2月	同上PM3:00～ PM5:00	「こどもカフェ」実施 こども無料・飲食菓子付き	毎週木曜日



### 共同実施団体

松井小学校南地区子ども育成会と民生児童委員



### 事業の運営体制

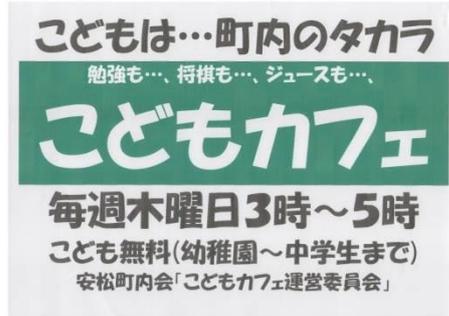
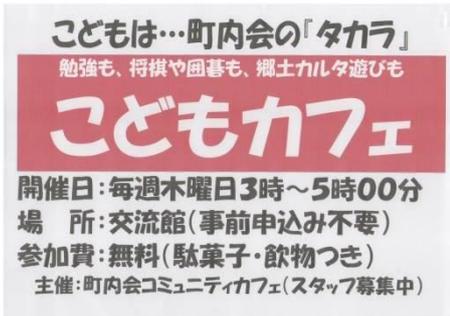
役割	人数	備考
カフェ運営	8人	4人ずつ交代で運営
サポート応援団	4人	監事や町内会役員が担当
ポスター回覧板周知	5人	会長や広報委員会



## 活動の効果

- ①こども達の笑い声や歓声が心地よく町内に広がった。
  - ②オセロや将棋遊びで友達ができよかったという声があった。
  - ③コミュニティカフェスタッフもこども達に元気をもらっていた。
  - ④若いママさんも一緒に来て交流できた。
  - ⑤他地区のこどもも入ってきて、交流の輪が広がった。
- ※無料で行った。

## 写真



▲ポスターや回覧板を利用して周知を図りました。



▲学習&遊びの場所づくり  
放課後のこども達が「将棋遊び」  
に熱中して盛り上がっています。



▲大勢のこども達が参加しました  
こども達と大人達（特に高齢者）  
との交流の場所となっています。



▲楽しい七夕まつりの開催  
にぎやかに短冊を切って願い事  
を書き込み、竹に飾り付けました。



## 東所沢3丁目自治会 地域内のゴミ収集を通して 自治会加入促進活動



### 目的

地域住民が利用する100ヶ所のごみ集積所に自治会活動を知らせるボードを設置して、新規会員の加入促進につなげ、人と人との絆を深める。



### 内容

- ①地域内のごみ集積所の利用者の把握と自治会未加入世帯の調査。
- ②ごみ集積所に「集積表示ボード」を設置して自治会活動内容を知らせる。
- ③未加入世帯への加入に向けた働きかけを行う。
- ④賃貸住宅、分譲マンションの管理会社に事業活動を知らせ、自治会加入促進への協力を依頼する。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
8～9月	東所沢3丁目区域	ごみ集積所の把握と自治会への加入実態調査	
10月	同上	ごみ集積ボードの有無調査	
11月～12月	各管理会社	賃貸住宅・分譲マンションの管理会社への訪問説明	
1月	東所沢3丁目区域	賃貸住宅・分譲マンションに案内書と所沢市のチラシ投函。ゴミ集積所掲示パッチの設置	
2月～	同上	未加入世帯への勧誘活動	



### 共同実施団体

賃貸住宅・分譲マンションの管理会社、自治会執行部、班長、子ども会、環境推進委員



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
実態調査	46人	自治会執行部、班長、子ども会、環境推進委員
管理会社への訪問・説明	3人	会長、副会長
案内書・チラシ投函、パッチ設置	9人	自治会執行部
勧誘活動	14人	自治会執行部・班長



## 活動の効果

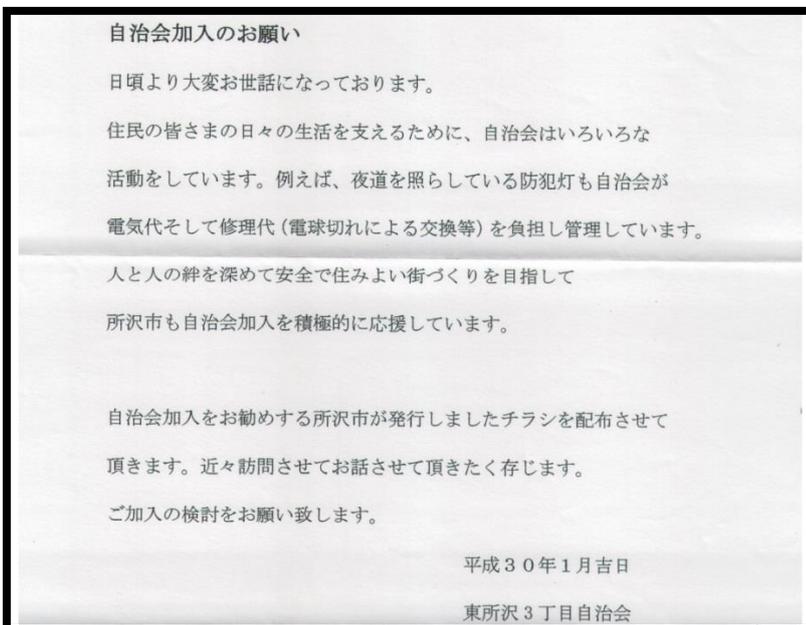
自治会加入率の低い賃貸住宅及び分譲マンションの住民への勧誘活動に集中した。所沢市が自治会加入を応援していることや、自治会活動を各世帯への訪問を通してお知らせをすることができ、人と人とのつながりや地域の絆の大切さをお知らせするいい機会となった。

今回の自治会加入促進活動の結果、2月末で20世帯の新規加入があった。

今後は残り約30ヶ所のごみ集積所に掲示パッチを設置して、未加入戸建て世帯及び賃貸住宅や未加入分譲マンション世帯に勧誘活動を続けていく。

## 写真

- ▼未加入世帯へ自治会加入を呼びかける文書を投函  
この文書を投函したところ20世帯の新規加入がありました。



- ◀▲ごみ集積所に掲示ラミネートを設置  
日頃皆さんが使うごみ集積所に自治会加入を呼びかけるラミネートを設置して、加入促進につなげています。

## 三ヶ島第三区自治連合会 ボランティアによる 土嚢備蓄事業



### 目的

自治会員が地域の浸水しやすい箇所を把握することで、防災意識を高める。地域の絆を培う。



### 内容

平成28年度の豪雨時に地区内の家屋、納屋、駐車場、畑等で浸水被害が多発した。土嚢があれば防げた箇所も多くあり、集会所、消防詰所、地区内自治会員宅に土嚢を備蓄して浸水の低減を図る。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
6月	三ヶ島第三区集会所	事業計画の共有化、ビラ配布	何を行うか共有する
7月	氾濫箇所	所沢市役所河川課、市議会議員と氾濫箇所の確認	地区内の重点地域の共有
10月～2月	自衛消防隊詰所、集会所	土嚢の備蓄、配布	土嚢設置場所の整備を含む
2月	三ヶ島第三区集会所	反省と今後の方針打合せ	次期自治会役員含む



### 共同実施団体

自衛消防隊、各自治会、集会所委員



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
計画作成	2人	各自治会への説明、協力依頼
実施計画策定	3人	設置場所、配布箇所の決定と自治会への同意のお願い
資材準備 土嚢備蓄	2人	運搬トラック手配、資材提供協力依頼、作業ボランティア募集



## 活動の効果

- ①非常時に三区内で使用できる土嚢約300袋を、氾濫する可能性がある場所に配置できた。
- ②今年は昨年比べて雨量は少なかったが、10月の豪雨では一部地域での被害を最小限にできた。
- ③河川課の職員、地元選出市議の立会いをお願いし、なぜ氾濫するか、今後の市の計画について説明していただき、理解が深まったことで、個々の家では自衛を考える住民も増えた。
- ④重量物を扱う作業は大変だったが、メンバー間のよい交流と地域で地域を守る考え方が前進した。
- ⑤今回の活動は、個々の家で備蓄をお願いする目的であったが、供給できる土嚢の数が少なかったため、地区内の公共建物への備蓄が中心になった。継続して氾濫危険箇所付近への備蓄を推進していきたい。そのための組織も新たに見直したい（自衛消防隊に移管）。
- ⑥土嚢は恒久的対策ではないことを住民に理解してもらい、恒久的な対策を個人・自治会（市へのお願い）も考えていくことを推進したい。

## 写真



▲ 土嚢の備蓄 自衛消防隊の火の見櫓撤去後整地して設置しました。集会所には100袋備蓄をしました。



▼ 10月の大雨の際に使用  
氾濫箇所に設置することで被害を最小限に抑えることができました。

## 小手指第六区中部自治会 自治会改革プログラム



### 目的

自治会の会員増強ならびに組織の強化



### 内容

自治会が存続問題に直面しているため、緊急対策として自治会改革プログラムを実施する。「ホームページ開設」「あじさい祭り」「地域貢献者表彰」「防災研修」事業などを行う。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
6月	六ツ家川緑道	あじさい祭り開催	
10月	小手指中学校	学校及びボランティア参加生徒に対する感謝状授与式	
10月	地域貢献者自宅前	地域貢献者への感謝状授与	
11月	立川防災館	防災研修バスツアー	
3月	小手指第六区集会所	自治会ホームページ開設 <a href="http://www.rokuku-jichikai.jp/">http://www.rokuku-jichikai.jp/</a>	



←自治会HP



### 共同実施団体

小手指第六区北部自治会、 小手指第六区南部自治会



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
あじさい祭り運営	40人	役員、ウーマンPT、子ども会、実行委員
感謝状作成及び授与	4人	中部・北部・南部の各区長と副区長1名
防災研修運営	20人	役員、防災・防犯PT
ホームページ開設準備	3人	役員、コミュニケーションPT



## 活動の効果

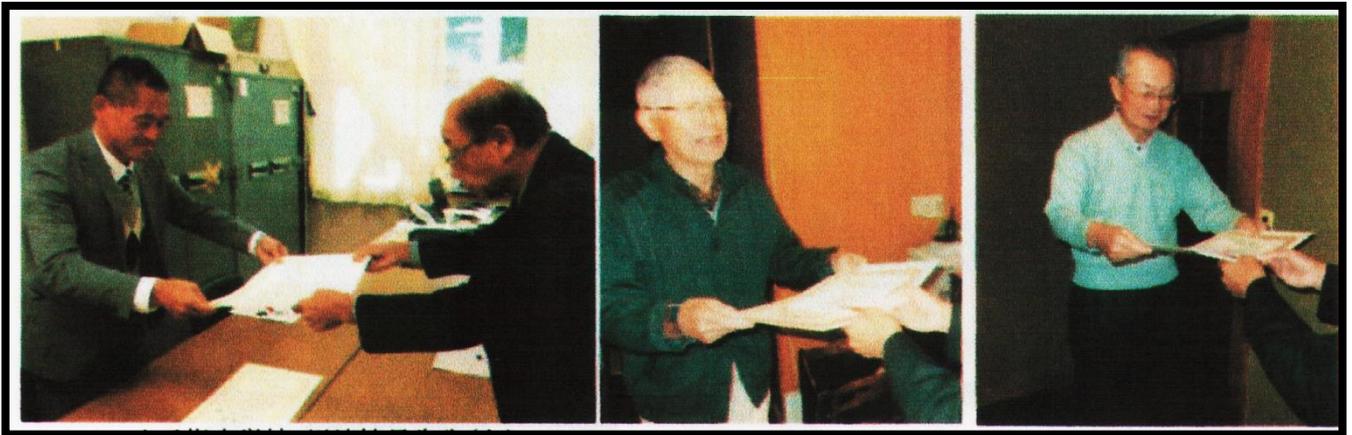
自治会存続の危機に直面し、様々な大改革を実行した。その改革の核になったのは、班長によるプロジェクトチーム（PT）の編成だ。従来の「役員による押し付けとお願いによる運営参加」スタイルから「班長による自主・自発的な企画・運営」スタイルへと大転換した。その結果、自治会存続のために本当に必要だったことは「自治会員や班長の自治会への意識改革」ではなく「役員の意識改革」であることが証明された。

役員の仕事は住民のリーダーという偉そうなものではまったくなく、ファシリテーター、つまり支援者である。役員の使命は「自治会員の意見が出やすいように雰囲気盛り上げ、無限の可能性を示し、班長たちがやりたい企画を自由に提案でき、その結果みんなが自由・自発的に運営に参加し、達成感を分かち合う」ようにすることだ。

実際班長たちからは「過去にも班長をしたけれど、今回はこれまでとはまったく違って、参加するのが楽しかった。」という声を頂戴した。今回の成功を受けて、当自治会の取組みが他の模範となるように、改革プロジェクトを継続する。



## 写真



### ▲ 地域貢献者への感謝状贈呈

あじさい祭りのボランティア中学生と地域見守り貢献者の方を表彰しました。



### ▲ あじさい祭り

- ① 模擬店出店
  - ② トコロん招待
  - ③ 中学生ボランティアの参加
- など行いながら緑道のあじさいを鑑賞しました。



### ▲ 立川防災館研修

煙体験や地震体験を行い、防災館より体験証明書を受け取りました。

## 小手指町二丁目自治会 地域イノベーションによる 防災コンシェルジュクラスター 創成事業



### 目的

自主防災活動規程の防災計画に関する試行訓練並びに各種災害による被害の防止及び軽減に特化した防災コンシェルジュ育成事業を行う。



### 内容

eラーニングとe教材（防災教材のDVD視聴覚による勉強）によるカリキュラムを修了することにより、防災コンシェルジュクラスターを育てる。  
 町民の4人に1人が65歳以上の高齢者となる超高齢化社会の到来に伴い、一人暮らしの高齢者や認知症の症状のある高齢者が増えていくことが予測される。こうした方々に対応できるきめ細かなサポート態勢を目指す自主防災組織活動に備える。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
8月	小手指町二丁目自治会館	事業カリキュラムⅠ～Ⅳ放映	参加者22名
9月	北中小学校	所沢市総合防災訓練等	
10月	小手指町二丁目自治会館	事業カリキュラムⅠ～Ⅹ放映	参加者33名
12月	小手指町二丁目自治会館	事業カリキュラムⅤ～Ⅶ放映	参加者22名
2月	小手指町二丁目自治会館	事業カリキュラムⅧ～Ⅹ放映	参加者22名



### 共同実施団体

北中小学校、小手指幼稚園、わかば保育園、小手指ハイツA棟・ブリリア小手指管理組合自主防災会



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
自治会館のイス・机等準備	4人	
自主防災リーフレット作成	1人	
小手指町二丁目防災地図の作成	1人	
パソコン・プロジェクター・防災動画の準備	2人	



## 活動の効果

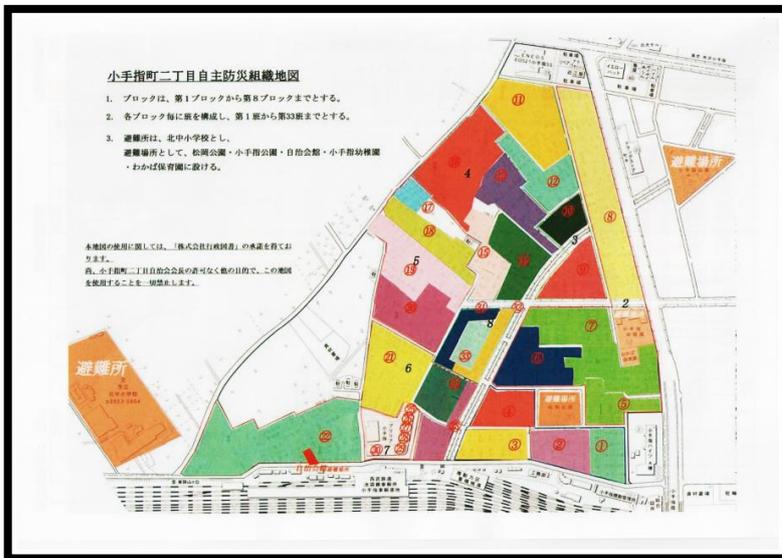
所沢市総合防災訓練では、簡易トイレの組み立て、発電機の稼動訓練等を実施し、防災コンシェルジュ育成事業では、eラーニングとe教材による動画で災害の恐ろしさを知っていただいた。こうした中で「釜石の奇跡」の生存率99.8%を知ることができた。海から500m足らずの近距離に位置している釜石東中学校と鶴住居小学校の児童・生徒約570名は、地震発生と同時に全員が迅速に避難し、押し寄せる津波から生き延びることができた。それは日頃の防災教育であったとのことだった。

自主防災組織の活動として、高齢者への的確な情報伝達を目指す取組みが重要となる。そこで自主防災組織編成表と防災組織地図を作り情報連絡隊と避難誘導隊には災害用メッシュゼッケンベストを用意し、また避難行動要支援者の把握できる自主防災組織地図を担当ブロック・班を色分けして対応することとした。

毎年役員が変わるたびに防災教育を行うことで、知識のある会員が増えていく。



## 写真



役名	役割	日常の役割	災害時の役割
情報連絡隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民に対する連絡体制</li> <li>情報収集、伝達訓練の実施</li> <li>防災意識の啓発、広報</li> <li>他自主防災組織との連絡、調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報を住民に対して伝達</li> <li>被害情報を収集、本部へ報告</li> <li>混乱回避、出火防止等の広報</li> <li>在宅避難の把握</li> </ul>	
避難誘導隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所・避難経路の確認</li> <li>避難路の安全点検、代替計画の検討</li> <li>避難行動要配慮者の把握、台帳の整備</li> <li>民生・児童委員との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の避難誘導活動</li> <li>安全な経路で避難誘導</li> <li>避難行動要配慮者への避難支援</li> <li>在宅避難の把握</li> <li>民生・児童委員の支援</li> </ul>	
消火隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期消火訓練の実施</li> <li>資機材の点検、整備</li> <li>消防水利の確認</li> <li>感震ブレイカー設置の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期消火活動</li> <li>消防署等関係機関への協力</li> <li>情報連絡隊と連携しての出火防止等の広報</li> </ul>	
救出・救護隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>救護体制の整備</li> <li>応急手当、衛生知識の普及</li> <li>救命講習への参加</li> <li>技能を持った住民の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>負傷者の搬送</li> <li>応急手当等の救護</li> <li>救出人員の割振、救出指示</li> </ul>	

### ▲ 自主防災組織図

担当ブロック・班を色分けして見やすくしています。自治会の加入・未加入に関わらず全戸配布を行い、いざという時に備えます。

### ▲ 自主防災組織編成表（一部）

役割分担を行うことで、災害時の役割を明確にしました。また、自主防災組織の設置基準を明確にし、その時の対応についても明記しました。



### ◀ DVD視聴覚による勉強

防災に関する勉強を行っています。毎年役員がこのカリキュラムを行うことで、自治会内に知識のある会員が増えていきます。

## 泉ハイツ自治会 トータル防災体制構築と 共助コミュニティ意識の醸成



### 目的

「いつ来てもおかしくない」と云われる震災への不安が増しており、対応体制を早急に構築する事が喫緊の課題とされている。それに対応するため、自主防災活動を再構築して震災に備えると共に、お互いが助け合う意識を高める事により有事の際の共助体制を整える。



### 内容

安否確認のための居住者状況調査・確認ルールの構築、居住者サポーター（有事の際に助けが必要と意思を表明された方の援助を請け負う）募集とセッティング、防災訓練、火災への備えとして自治会員以外の居住者も含め、全戸に小型家庭用消火器を配布。併せて自治会への勧誘活動・啓蒙活動、防災・救援・救助に関する不足器材の準備等を行う。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
6月	防災倉庫・泉ハイツ	防災備品棚卸・消火器各戸保有調査	
9月	泉ハイツ	防災訓練 第1回	参加35名
11月	同上	居住者カード変更確認・消火器配布	
1月	同上	防災訓練 第2回	参加79名
3月	並木まちづくりセンター	防災訓練 第3回検討	



### 共同実施団体

緑ハイツ自治会、光ハイツ自治会



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
企画・実施検討	30人	自治会役員・自主防災会委員・管理組合理事
資料作成・配布	5人	
物品購入	3人	
防災訓練（炊き出し）	10人	配食・給水班、教育・啓蒙班



## 活動の効果

居住者同士の共助の意識高揚と、災害への準備体制を整えるために、防災訓練を重ねることで、徐々に団結の気持ちが出てきていることを実感した。

また、家庭用消火器を全戸配布し併せて自治会への勧誘も行ったことで、火災に対する備えも盤石になり、4世帯の加入を得ることができた。今後も防災訓練を重ねることで、特に地震に対応できる体制の精度を高めていきたい。



## 写真



### ▲防災訓練

高齢者や援助が必要な方を事前に調査し、無事な住民がその方を援助できるような体制づくりを進めています。

### ▲防災訓練

いざという時に無事な家庭にはベランダに「無事です！タオル」を掲げることで一目で安全が確認できるようになりました。

## 東町町内会 東町町内会安心安全の自主防災

### 目的

災害時における町内会が主体となる避難計画を策定し、行政の支援がくるまでの間、自分達の生活を守るための準備を行い安心安全を図る。町内会加入促進も同時に進め、町内会に加入する意義を伝える。

### 内容

マンション・アパートが増えていく東町町内会において、大きな災害時の対応を東町町内会全体で考え、いざという時、皆が行動し助け合える自主防災組織を立ち上げる。  
有事の際、町内で連携を取り合うため、連絡先の分からないマンション・アパートの連絡先を把握する。また避難場所が所沢小学校になっているが、より近い場所を一時避難場所とする。このこと記したマップを全戸配布する。

### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月21日	日東会館	町内会総会	事業計画承認
5月31日	同上	町内会三役会	今後の方針を検討
9月24日	同上	自主防災組織設立準備会	設立に向けた話し合い
2月18日	同上	自主防災組織連絡会	防災マップ等について話し合い
2月18日	同上	自主防災組織連絡会設立総会	中央消防署より講話 防災マップの配布

### 共同実施団体

管理組合のあるマンション及びマンション・アパートの管理会社、消防第三分団

### 事業の運営体制

役割	人数	備考
東町自主防災設立について検討	9名	東町町内会三役
防災マップの作成	4名	町内の避難場所調査など
東町防災連絡会の方向性を決める	15名	設立準備会に参加したメンバーにて事業を検討



## 活動の効果

大型のマンションや管理会社に連絡を取り準備会を進めたところ、防災について関心が高く、このような組織が必要であり、皆で連絡を取り合いながらこの町を守っていこうと意見が一致した。また東町は住宅マンション、ワンルームのアパート、商店街、大型店（イオン）、病院等が町内にあるのでお互い連携し協力できれば大きな安心につながる。

今回防災連絡会を設立するにあたり、各マンションの役員とも連絡が取れ、町内の新年会にも参加していただいた。防災の要は仲間づくりだと考える。町内会で行われる盆踊りやお祭り、その他色々な行事に参加して多くの仲間ができれば、この町がより安心・安全、そして居心地のよい町になっていくと思う。

## 写真



### ▲東町自主防災連絡会総会

災害時にはマンションなどの集合住宅ともすぐ連絡を取り合えるように、町内で連携を取り合いながら、防災について考えていきます。

**東町一時(いっとき)避難集合場所防災マップ** 2018

**災害が起きた時 自分の判断が自分達を守ります 目頃から考えておきましょう**

**地震発生**  
 地震発生時は、直ちに避難場所へ避難してください。  
 避難場所は、近所の公園・広場（一時(いっとき)避難集合場所）へ

**左地図の緑の場所です**  
 指定避難場所 東町の小学校です。

**所沢小学校 赤い場所です**  
 避難ルートは、避難から確認しておきましょう。

**指定避難所**  
 避難所は、東町の小学校です。

**所沢小学校 赤い場所です**  
 避難所は、東町の小学校です。

**黄色の建物です**  
 寝室に靴と頭を守るものを用意しておきましょう。夜の真っ暗な中でガラス・食器等で足を切らないよう家の中から靴を履いてプレーカーを切ってから避難してください。（車のカギンは、つねに満タンにしておきましょう）

**ローリングストック**  
 日常生活で使用する水や食料を多めに準備しておき、消費したら補充するという「ローリング（回転させながら）ストック（備える）」が有効です。非常時にも備え食べ残れているものを食べることでため、安心できます。

**ローリングストックとは**  
 ローリングストックとは、ローリング（回転させながら）ストック（備える）が有効です。非常時にも備え食べ残れているものを食べることでため、安心できます。

**個人で用意する防災備品**  
 飲料水 非常食 携帯トイレ  
 懐中電灯（ヘッドライト）  
 ランタンライト 携帯ラジオ  
 ガスコンロ 消火器 その他

**東町町内会・東町自主防災連絡会**

### ▲防災マップの作成

新しく東町にこられた方にも分かりやすい防災マップを配布することとなりました。指定の避難場所以外の情報も載っており、まさに地域の詳しい防災マップとなっています。

## 東所沢和田3丁目自治会

地域内に一人ぼっちを創らない！  
コミュニティ促進空間の提供をとおり、  
自治会加入促進をすすめる事業

### 目的

地域では、共稼ぎの家族や学童クラブなどの施設の抽選に外れたりなど、一人ぼっちの子どもたちがいる。また、お年寄りの中にも、連れ合いが亡くなったり、ご家族と離れて生活する一人ぼっちの生活者も増えてきている。そのような対象者は、コミュニティ空間が弱く、気がつく仲間や家族との絆が途絶えてしまう。そこで地元自治会集会室を利用し会話やお茶飲みや宿題のお手伝いなどを行うことで、友達やご近所の知り合いからの繋がりができ、一緒に過ごすことでコミュニティの絆作りの応援につなげる。

### 内容

定期的集える空間を提供することにより、子どもたち同士とのコミュニティネットワークの構築を図る。より地域との繋がりが深まり、新たに地域スタッフとのコミュニケーションも図れる。忙しく活躍されるご両親やご家族などとの家族間コミュニティも期待できる。この事業を通して自治会加入の促進へ繋げる。

### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
7月～8月	自治会集会所	集会所でイベント等実施	ポスター・チラシ・回覧作成
9月～10月	同上	同上	同上
11月～12月	同上	同上	同上
1月～2月	同上	同上	同上
3月	同上	同上	同上

### 共同実施団体

民生委員、保護司、子ども会若葉、更生保護女性会、所沢市社会福祉協議会、青少年多文化学びサポート、和田学童クラブ、れんげこども園、その他

### 事業の運営体制

役割	人数	備考
班長	28人	
本部役員	18人	
民生児童委員	2人	
その他	23人	



## 活動の効果

ポスター・チラシ作り及び回覧で事業の周知を図った。第2第4金曜日の15時～20時の月2回実施した。「楽しい会話」「楽しいお茶飲み」「楽しい趣味談話」「楽しい交流会」など老若男女が一堂に会して、誰でも参加できるようにした。

地域福祉活動の要望は当初より多く聞こえたが、自治会の会員は前年度430世帯から435世帯へと増えた。

またクリスマス特別企画、みんなの餅つき大会、昔々の遊び企画、ひな祭り企画、外国籍の方のための日本語講座など特別企画も多々行った。



## 写真



### ▲ぬりえ作成企画

17名の子ども達が参加してくれました。ステキな作品をプレゼントしていただき集会所には子ども達の絵が展示されています。

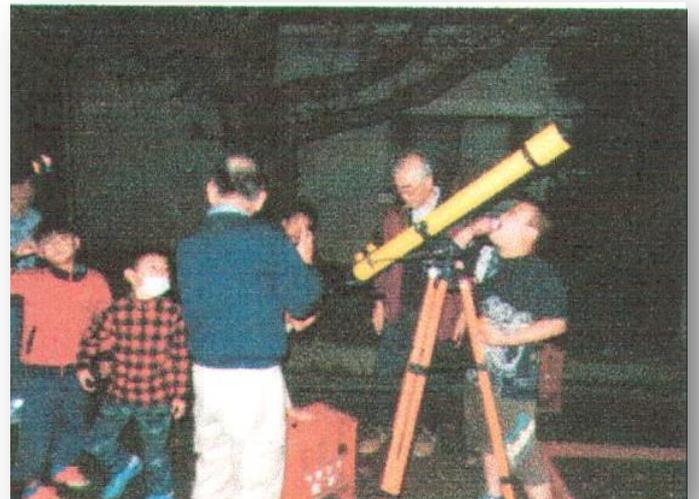
### ▲クリスマスパーティー

クラッカーの合図でパーティースタート！サンタからたくさんのプレゼントをゲットして大いに盛り上がりました。



### ▲バレンタインデー企画

参加者みんなでわいわいガヤガヤチョコレートケーキづくりに大騒ぎでした。



### ▲天体望遠鏡で月のクレーターを観察

参加条件はありません。誰でも参加OKです。

## 東住吉町内会 東住吉町内会 体験型防災訓練



### 目的

- 地域の子供達と防災用品の使用体験を行う。
- 各家庭に用意してほしい防災用品の紹介をする。
- 防災倉庫として、災害時に必要な防災用品を備える。



### 内容

- 地域住民との親睦を深めることで、絆作りの一環とする。  
(当日、防災用品の体験の後でバーベキューを行う)
- 災害時に地域住民が対応できるような体制を作る。
- 防災倉庫として、避難場所としての確立。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
H29年6月27日	住吉会館	事業計画について検討 事業内容の確認	
H29年9月16日	ホームセンター	防災用品の購入 最終打合せ 購入用品の確認	
H29年12月10日	防災倉庫・緊急避難場所	体験型防災訓練・バーベキュー	



### 共同実施団体

南小学校PTA、南陵中学校PTA、所沢市危機管理課



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
計画の作成	15人	打合せを5回行った
参加者への連絡	30人	町内会理事会での連絡
チラシの作成	10人	意見を出し合ってチラシ作成
用品購入・管理	10人	



## 活動の効果

- ・地域住民と親睦を深めることで、非常時に協力できる体制作りができた
- ・災害時に対応できるように、テント・食糧等の防災用品の取扱い練習を行った。
- ・公園を避難場所として周知した。
- ・中学生100人と地域の住民65人の参加があり、当日は市長から激励を受けた。



## 写真



### ▲体験型防災訓練の様子

当日は多くの中学生の参加がありました。テントの組み立てなどを行うなど、実際に防災用品を使用することで使い方を学びました。



### ▲吾妻地区にできた公園で子ども達がボール遊びを行っています。

備蓄品リスト		非常用持出品リスト	
品名	補足		
非常持出品袋	避難時に持ち出すもの(別紙)	非常用持出品袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所においておきましょう。	
ヘルメット		<b>貴重品類</b>	
懐中電灯		10円玉は公衆電話用に。通帳や保険証、免許証はメモがコピーを用意しておくといきましょう。	現金 10円玉 預金通帳、印鑑 保険証、免許証
ヘッドライト	両手が空いて便利	<b>避難用具</b>	
LEDランタン		ヘッドライトは両手が空くため便利です。	ヘッドライト 携帯ラジオ 予備の電池 ヘルメット
携帯ラジオ		<b>生活用品</b>	
予備の電池		避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障害者がいる場合などを考慮しましょう。	手袋 毛布 歯ブラシ ライター・マッチ 万能ナイフ 携帯トイレ(凝固剤)
携帯電話の予備バッテリー		<b>救急用具</b>	
ブルーシート	家屋破損の一時補修	ばんそうこうや消毒液など。その他ビタミン剤などのサプリメントもあるといきましょう。	処方薬 持病の薬 生理用品
ロープ	家具の固定等	<b>非常食品</b>	
軍手		そのままで食べられるものが便利です。	非常用食料 栄養補助食品 アメ・チョコレート 飲料水
毛布		<b>衣料品</b>	
ウェットティッシュ		衣類は動きやすいものを選びましょう。靴もとくつを用意しておくことも重要です。	下着 長袖・長ズボン 防寒用ジャケット・雨具
トイレ用品		<b>その他</b>	
簡易トイレ			携帯用カイロ 携帯電話の予備バッテリー ウェットティッシュ
非常トイレ用凝固剤	猫砂で代用可		
消毒剤			
黒ポリ袋			
非常用食料	最低3日分		
栄養補助食品			
飲料水	1人1日3ℓ		
カセットコンロ			
カセットガスボンベ	1本で約1時間		
救急用品			
救急箱	ばんそうこうや消毒液		
胃腸薬、便秘薬			
生理用品、紙おむつ等			
その他			
	各々必要と思われるものを考えておきましょう。		

◀「いざというときの防災用品のしおり」を配布しました。各家庭に必要な防災用品が一目でわかるようになっています。

## 西原自治会 第9回 夏休みチビっ子家族 ラジオ体操

### 目的

安松小学校・松井小学校の児童、各地区幼稚園の園児とその各家族の方々と併せて自治会の高齢者を対象に、朝のラジオ体操を通して規則正しい生活による健康増進と地域内の方々の絆を深めることを目的に、安松神社境内にて7月22日～8月26日の36日間、朝6時30分NHKのラジオ放送に合わせ、ラジオ体操を毎日実施する。

### 内容

第9回となる本年のラジオ体操会は連続36日間実施し、参加者全員が皆勤をめざす。また、横の繋がりも広める。

☆①20日以上参加した子供に対してご褒美を贈呈する。

☆②目標を掲げて実施する。

☆③高齢者も参加したらカードに参加印をもらい、印1つで1ポイントとし、20ポイント以上の方に記念品を贈呈する。

### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	会長宅	事業開催に向け方針打ち合わせ	4名
6月	安松会館	会員の主要メンバーで具体策打合せ	26名
7月～8月	安松神社境内	36日間毎朝ラジオ体操実施。出席者の体操カードに押印	26名
8月～9月	安松会館	子ども達へのポップコーン作り ご褒美の袋詰め作業 反省会（次回開催へ反映）	8名 17名 26名

### 共同実施団体

松井地区自治連合会の各自治会、安松小学校、松井小学校、西原子供会、近隣の各幼稚園

### 事業の運営体制

役割	人数	備考
ラジオ体操カードに毎日押印の係	26人	安松神社ラジオ体操会員、西原子供会役員
全参加者と子ども、高齢者の人数把握係	6人	安松神社ラジオ体操会員、西原子供会役員、民生委員
ラジオ2台、拡声器、看板、垂れ幕、学年札セット係	5人	安松神社ラジオ体操会員
ご褒美準備、運搬、配布、ポスター写真係	18人	安松神社ラジオ体操会員、西原子供会役員



## 活動の効果

- ①体操会ポスターを子ども達にも作成してもらい各所に掲示。主催者は下記のようなポスターを各自治会、小学校、幼稚園、スーパー等に掲示してPRした。  
学校・保育園・幼稚園で12団体からの参加があった。（昨年増+4）  
またチラシも近隣の自治会・学校・幼稚園に配布してPRした。
- ②新企画の子どもへの皆勤賞を設けたことで出席日数の底上げにつながった。  
高齢者へのポイント制による記念品贈呈は43名の方が達成された。民生委員と連携し、高齢者へ個別に案内書を配布したことが成功につながった。
- ③課題として36日フルに参加してもらうためには、以下2点がポイントとなる。
  - 1) 夏休み期間の家族との旅行や帰省の問題をどう解決するか。
  - 2) 雨天の場合、会場をどう対処するか。H29は雨天が多く対応に苦慮した。

今年は多くの幼稚園から参加があり、地域とのつながりを広げることができたと考える。  
また当ラジオ体操活動に対し「関東地方表彰」を受賞した。

## 写真



### ▲掲示したポスター

子ども達が描いてくれて作成したポスターがたくさん集まり、自治会の掲示板や幼稚園、スーパー等に掲示してPRを行いました。



### ▲子ども達と高齢者の体操の様子

毎日の体操を続けることで、子どもと高齢者のつながりも広がります。

### ▲参加者全員で集合写真

関東地方表彰受賞記念にみんなで記念撮影を行いました。

## 荒幡町内会 鯉のぼりの掲揚と ドレミの丘ミニ音楽祭



### 目的

鯉のぼりの掲揚により、子ども達に夢を与える。ドレミの丘公園のネーミングを活用し、所沢市が進める「音楽のあるまちづくり」にちなんで、音楽に親しむ人達の発表の場をつくることを目的とする。



### 内容

地域の絆とコミュニティづくりを目的にドレミの丘公園に鯉のぼりを掲揚するとともに、同公園にステージを作りミニ音楽祭を開催する。

☆①音楽祭を半日から一日にする。

②売店を設置する。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4月	荒幡会館	事業計画の検討 出演者の募集、ポスター掲示	
5月	ドレミの丘公園	物品購入、のぼり竿の設置 仮設ステージ、 鯉のぼり掲揚とミニ音楽祭	



### 共同実施団体

なし



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
鯉のぼりの掲揚と安全管理	20名	町内会本部役員
資料作成・配布	4名	回覧、出演者依頼、ポスター作成掲示
物品購入	6名	
草もちづくり	20名	女性部、民生委員、児童委員



## 活動の効果

鯉のぼりの掲揚により、子ども達に夢を与えると共に、その間多くの地域住民がドレミの丘に足を運び世代間の交流も図られた。

また、ミニ音楽祭には昨年同様大勢の方が集い、所沢市が進める「音楽のあるまちづくり」にちなみ、音楽に親しむ人たちの場を作り、その後実施した夏祭り・盆踊り会場へ足を運ぶ人も増加し、地域の絆強化とコミュニティづくりに役立ったと実感している。

この事業は今後も継続して実施していきたい。



## 写真



### ▲ミニ音楽祭の様子

ソプラノ歌手・ハワイアンバンド・ロックバンド・アルトサクソ・荒幡囃子連など多くの方に出演していただきました。



### ▲鯉のぼりの掲揚

天気もよく、大きな鯉のぼりが空を舞う姿はとても気持ちがいいです。

## 三ヶ島第二区自治連合会 ボランティア活動の深化促進及び 防災拠点の整備

### 目的

昨年『二区ボランティア見守り活動』を実施したところ、地域が広く旧と新興地区の住民意識が異なることから、仲間意識が希薄であるとともに災害発生時の防災拠点が整備されていないことが課題としてクローズアップされた。そのため、普段からボランティア活動の深化促進を図る交流の場を確保するとともに、安心・安全な地域づくりの核となる防災拠点を整備する。

### 内容

- ①旧詰所には掲示板を設置し、見回り活動や散歩時の休憩場所として開放し、ボランティア活動や仲間づくり等の気軽に集える『交流の場』として活用する。
- ②旧ポンプ室には、初期消火器、飲料水、暖房用毛布及び防災グッズ等を計画的に備蓄して、災害発生時や不測事態に備える。
- ③防災拠点を広く知って頂き、安心・安全を共有する。

☆旧詰所は防災拠点の交流の場として、旧ポンプ室は防災備蓄倉庫として活用する

### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
4～11月	第二区防災倉庫	防災拠点の整備	第二区自衛消防隊から第二区防災倉庫に変更
4～5月	二区集落センター	ボランティア説明会&名簿の更新	役員紹介・任務確認
10月	三ヶ島稲荷神社境内及び二区集落センター	自主防災訓練の実施	災害発生時の実働訓練
9月～11月	第二区防災倉庫	防災倉庫「整理棚」の整備	市販のオープンラックを自前で整理棚に組み立てる



### 共同実施団体

二区民生児童委員



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
改修事業の推進	16人	仕様決定、業者選定、発注、支払、組立等
説明会&紡ごう絆の普及活動	85人	ボランティア説明会&名簿更新 防災組織の役割確認
紡ごう絆の実働訓練	115人	自主防災訓練に参加し役割・絆の重要性を確認



## 活動の効果

辛うじて維持してきた自衛消防隊を自主防災組織（消火班）に吸収し、防災害対処組織を一本化し自衛消防隊の旧詰所は「交流の場」として開放、旧ポンプ室は「防災備蓄庫」として利活用することとした。

そのため、倉庫の名称を「第二区防災倉庫」に変更し、倉庫の外装・屋根の洗浄・塗装、照明をLED化、旧ポンプ室の内部を改修し防災備蓄庫にして「防災拠点」の整備を図った。

防災備蓄庫の整備に先駆け解放した「交流の場」は、気軽に立ち寄れ、かつ「いざ」という時の拠り所として周知・認知された。また、災害発生時の指揮所・情報収集所としても活用する予定だ。一方、防災備蓄庫には、防災関連備蓄品の着実な充実を図っていく。

なお、「交流の場」と「防災備蓄庫」を併せて【第二区防災倉庫】と総称し、地域の防災拠点としての充実を図り、安心・安全な地域づくり【紡ごう絆】の一翼を担っていく。



## 写真



### ◀ 改修作業の様子

これまで自衛消防隊のポンプ室及び詰所だった建物を開放して、右側を「憩いの場」左側を「防災備蓄庫」としました。地域の安心安全の中心となる建物へ生まれ変わりを図りました。



### ◀ 防災備蓄庫

防災関連備品の充実を図って、地域の「防災拠点」として安心・安全のまちづくりを進めていきます。

### ▶ 「憩いの場」

地域の皆さんが気軽に立ち寄れるコミュニティスペースとして開放しました。交流の場をつくることで、活動が活性化して深まっています。



## 所沢ネオポリス自治会 富岡地区の里山の保全と間伐材を 利用したホダ木づくり



### 目的

里山に光が差し込み風が通う安全で住み良い環境を作る。



### 内容

所有者から許可の取れたネオポリス近隣の雑木林における下草刈り、下枝・小木の間伐、つる草刈り、倒木の片付けを行う。

里山に光と見通しを得ることで地域の環境・防犯・安全等に寄与する。

【環境】地域の明るさ・風通しの確保、ゴミ不法投棄抑止

【防犯】不審者からの子女の安全確保

【安全】見通し、ミラー確認による歩行者、車両の事故防止

【ホダ木】作業副産物である間伐材を利用し、自然循環のサイクルの中でしいたけづくりを行うことができ、構成員の一層の事業意欲の推進に活かす。

☆間伐材を利用したしいたけのホダ木づくり



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
9～3月	ネオポリス周辺の里山作業地	里山の保全（下草刈り、間伐）	
11月	同上	ホダ木用コナラ伐採、玉切り、仮伏	間伐材使用
1月	同上	しいたけの駒菌の種菌・本伏	



### 共同実施団体

ネオポリス自治会青年部



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
里山保全作業	10人	
ホダ木づくり・計画	6人	
保全用具管理メンテナンス	2人	



## 活動の効果

従来の里山保全作業を通じて、ネオポリス周辺地域の環境改善、防犯、見通し等の住みよい環境づくりに貢献した。今年度はさらにしいたけのホダ木づくりを行うことによって、作業副産物である間伐材の有効活用と、自然循環の中で行うしいたけづくりにより、構成員の一層の事業意欲が促進された。

1年後のしいたけの採取を楽しみに今後の活動も活発に行って行きたい。



## 写真



### ▲間伐材の伐採

これらの間伐材のうち、しいたけのホダ木に適したコナラを活用して、取扱いのしやすい60～70cmの長さに切断（玉切り）していきます。これらを段組にし、1～2ヶ月乾燥させます（仮伏せ）



### ▲しいたけの種菌・ホダ木づくり

しいたけ駒菌用に15cm感覚で穴を開けていきます。その穴に駒菌を打ち込んでいきます。

「おいしいしいたけを作る」という目標のもと、作業の一体感と充実感を得ることができました。

## 小手指第4区自治会 東川にホタルを呼び戻そう



### 目的

- ・「第5回東川ホタルの夕べ」は地域を挙げて開催し、多数の来場者にホタルの観賞を通じて絆を深めていただくと共に、各町内会や共同実施団体との結束を促進して、地域の活性化に繋げていく。
- ・東川中流域の美化活動を行い、地域住民に活動への参加を呼びかけていく。



### 内容

- ・東川ホタルの夕べは5年目となり、地域児童の参加（ホタルの放流、観賞学習会）や☆地域の高齢者施設でホタル出前観賞会等を行い、催事+αの活動に拡充する。
- ・東川の美化活動について地域の理解を深めるための広報用のシンボルマークを作成して看板の設置やベストの着用を励行する。他ホームページ開設等も行う。☆秋季には地域中学生（小手指中学校）の参加による美化活動を行う。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
6月	東川中流域	第5回ホタルの夕べ	
6月	特養ホーム等3ヶ所	ホタルの出前観賞会	
4月～11月	東川中流域	東川の美化活動	
年間	ホタルの共同飼育場	平家ホタルの共同飼育作業	
年間	上新井会館	総会・各種会議	12回



### 共同実施団体

上新井の自然を愛する会、小手指第1区、2区、3区、5区東、5区西、3丁目中央



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
会場設営、ホタルの配備、来場者誘導、会場撤去等	68人	会場撤去は1週間後に行う
ホタルの運搬、会場内设営、ホタルの解説等	12人	小手指第1包括支援センターと連携
川の土手と中の草刈り、ごみ収集、樹木の剪定等	98人	小手指中学校の生徒と先生（18名）
ホタルの孵化、給餌、水替え、羽化等の作業	6名	10ヶ月間、毎月月曜交代で作業



## 活動の効果

①第5回「東川ホタルの夕べ」は推定で1500人あまりの来場者があり、地域及び遠方からの老若男女がこの催事によって絆を深め、ホタルを通して自然の営みに触れていただくことができた。特に幼い子にはふるさとでのよい思い出作りになってくれたものと思われる。今後も継続して開催したい。

②6年目を迎えた「ホタルの共同飼育」は成虫の羽化率が過去最低ではあったが、催事への供給に加えて、昨年開催した「ホタル出前観賞会」を今年は3ヶ所に増やして実施し、多くの高齢者に喜んでいただいた。ホタルの生存期間が短いので、多くの施設で開催することは困難だが、エリアを変えて今後も実施したい。

③東川の美化活動は例年通り、3回（4,5,11月）と行ったが、11月の定例会には小手指中学校の先生と生徒の参加があり、初めて地域の学校との貴重な交流ができた。今後他の催事等でも続けたい。



## 写真



▲ホタルの夕べ  
今年で5回目を迎えるイベント。毎年夜にホタルの観賞を行っています。



▲ホタルの出前鑑賞会  
昨年から取り組んでいる出前観賞会を今年は3ヶ所に増やして行いました。



▲東川の美化活動  
今年度は初めて地元の中学校と共同で行いました。学校の子供達とも交流ができ、貴重な経験になりました。

## エステ・スクエア新所沢自治会 エステふれあい資源回収（資源搬出サポート） 自治会加入促進事業



### 目的

当マンションも高齢者の割合が年々増加しており、このような活動を行うことで資源搬出の負担軽減、見守り活動及び交流を増やす効果が見込まれる。また自治会活動に対する理解を深め、入会を促進し会員増加が見込まれる。



### 内容

自治会資源回収の際、高齢者世帯、単身高齢者及び支援を要する方たちに資源搬出のサポートをし、併せて交流を図る。またこの活動を行うことで、自治会活動の意義を広め自治会員の増加を目指す。資源回収サポートの案内を回覧及び掲示などにより広報活動を行い希望者を募る。毎月第1土曜日（資源回収日）に自治会役員が直接自宅まで回収に向う。  
☆自治会ベストを着用した役員が、搬出サポートの希望者宅を訪問し、資源を搬出代行する。



### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
8月	マンション内集会室	物品見積もり・購入	
9月	同上	住民への案内文作成	
10月	同上	案内文配布	
10月	同上	搬出サポート希望者確認	
11月～	マンション敷地内	希望者各戸から回収	



### 共同実施団体

なし



### 事業の運営体制

役割	人数	備考
搬出サポート希望者募集のご案内作成	1人	
ご案内文配布	2人	
搬出サポート希望者確認	1人	
希望者各戸から回収	2人	



## 活動の効果

ふれあい資源回収を実施したことにより、資源回収量も増加し、高齢者の皆様に声かけもでき、見守り活動も活発になった。

また希望者からは年末で量が多かったこともあり、大変喜ばれた。

今後住民の皆様の高齢化が進むことは予想されるが、来年度も継続して行うようにする。



## 写真



▲黄色いベストを着た役員が、高齢者の代わりに資源回収の重い荷物を運搬しています。高齢者の方はとても助かっています。

◀ テントを設置し、集団資源回収のPRを行いました。

## 北中自治会 子供達の夏祭りポスター作成による 夏祭り参加拡大及び自治会会員の入会促進

### 目的

子供達が北中夏祭りのポスターを作成し、各班に掲示することにより、子供達の夏祭り参加意識の向上と家族の参加へとつながる。夏祭りを通して、若い世代と高齢者世代のギャップを少なくし、気軽に会話ができる雰囲気作りをする。よって自治会会員の拡大を図ることができる。昨年までは西富小の子供達だけでポスターを作成していたが、今年度からは北中小、宮前小の子供達にまで作成を依頼した。各学区内にポスターを掲示することにより、自分たちのお祭りに参加し実感していただくことができる。

### 内容

各学区の子供達が作成したポスターを掲示することにより、夏祭りがより身近に感じられ、本人の参加はもちろん、友達や家族も一緒に参加する相乗効果が図られる。また、自治会に入会する機会にもなる。

☆ポスター作成を西富小の子供達だけでなく、北中小、宮前小の子供達にも作成してもらう。

### スケジュール

時期	場所	実施内容	備考
5月	北中公民館	夏祭り実行委員会発足と活動計画立案、作成	
6月	同上	ポスター作成の依頼文、チラシ作成。物品購入、保管、用紙等の配布	
7月	北中公民館・北中地域	ポスターの回収、班長へポスターの配布、各班にポスターの掲示	ポスター作成のごほうびと文具の配布
8月	同上	夏祭り開催、ポスターの撤収	夏祭り参加の子供にお菓子のプレゼント

### 共同実施団体

西富小育成会北中支部、北中小通学班、宮前小通学班

### 事業の運営体制

役割	人数	備考
活動計画、依頼文書の作成	2人	
部品の購入、管理、仕分け	2人	
画用紙の配布及びポスターの回収、点検、加工	2人	ビニール袋入れ、掲示用ヒモの取付け
掲示物の回収、反省会	6人	



## 活動の効果

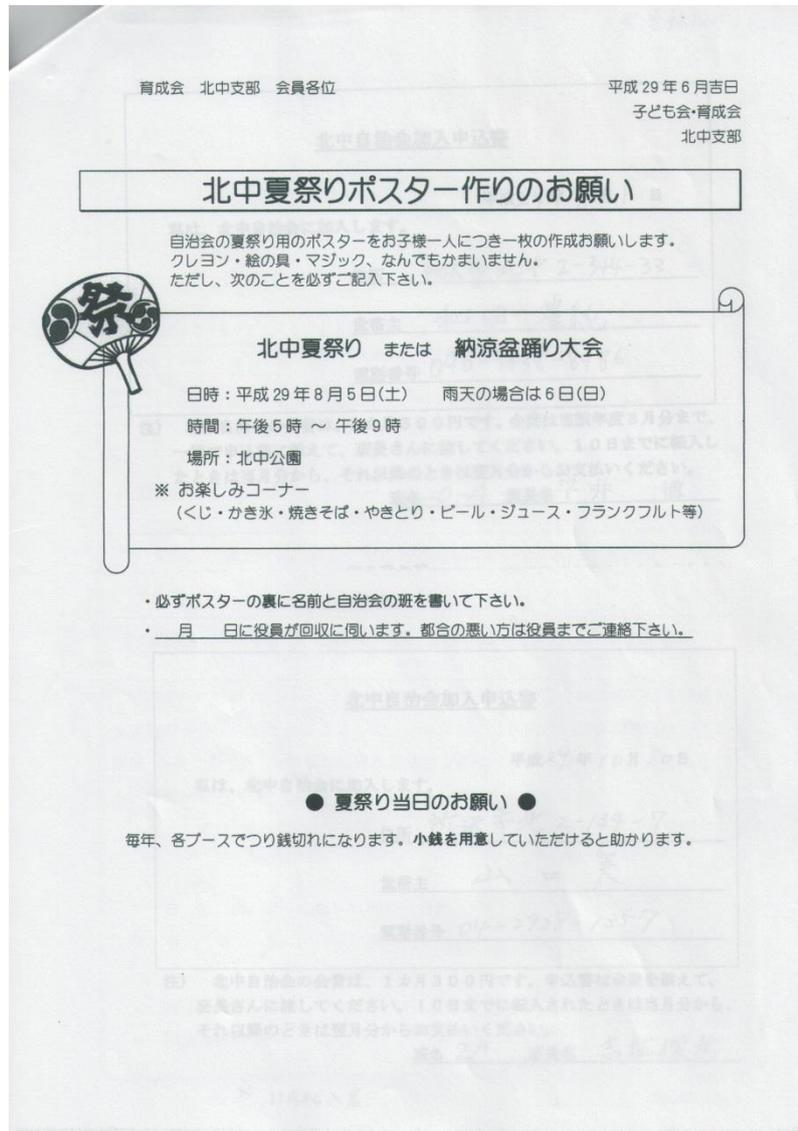
西富小、北中小、宮前小の子供達に夏祭りポスターを作成していただき、各班が目立った場所に掲示したことで、夏祭りが身近に感じられ子供達にも人気となり、参加者数も昨年より増加し、大いに楽しんでもらうことができた。

ポスターをスーパー等に掲示して子供達中心をアピールすることができた。また、自治会に未加入だった方も2名この機会に加入して会員の拡大につながった。企業の方も賛助会員として内諾をいただいている。

印刷したキレイなポスターより、子供達の気持ちの入った手書きポスターに立ち止まって読んでいる方も見られ、大変喜ばしく思っている。



## 写真



### ▲ポスター作成依頼のチラシ

各所にポスター作成のチラシを掲示したところ、例年以上に夏祭りを楽しんでいただけました。

今後、事業を実施する際に  
役立ててみてはいかがでしょうか？  
今年度も5月～6月に募集しています。  
予算に限りがありますが、  
全自治会・町内会にチャンスがある  
補助金です。

※選考委員会があります。  
すべての応募事業に補助金を交付することができない  
場合があります。



## 平成29年度 紡ごう絆地域応援事業 事例集

平成30年6月発行

発行・お問合せ先：所沢市市民部地域づくり推進課  
〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1

TEL：04-2998-9083

FAX：04-2998-9491

メールアドレス：[a9083@city.tokorozawa.lg.jp](mailto:a9083@city.tokorozawa.lg.jp)

URL

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/shiminsanka/jic-hikai/katudou/kizunaouen/index.html>



市ホームページ→

